

海星

発行：薩摩川内市立
海星中学校PTA
編集：生活研修部
平成31年3月13日発行

「私たちの光」
学芸部長 洲上 彩花

「輝け！私たちの創像」と
みんなで声を合わせて叫び、
私たちの文化祭は始まった。
海星中学校は、全校生徒十
五名、とても小さな学校だ。
しかし、十五人全員仲が良い。
平成最後となる文化祭の準
備と練習に誰一人手を抜く
ことなく全校生徒で力を合
わせて取り組んできた。学芸
部長である私は、文化祭の実
行委員長として器楽合奏の
呼びかけをしたり、準備の指
示をしたりするなど、平成最
後となる今回の文化祭を成
功させようと頑張ってきた。
だから、文化祭への想いは誰
よりも強かったと思う。



ださった。郷土芸能・ダンス・
劇・合唱奏などどれもとても
盛り上がった。
私たちは、自分たちの光を
自分たちで見ることができ
ない。しかし、来場してくだ
さったたくさんの方々の目
にしっかりと焼き付けられ
たと思う。その証拠に「お疲
れ様。すくよかったですよ！頑
張ったね。」とたくさんの方
葉をかけていただいた。
私たちが光輝く瞬間がた
くさんの方々を感動させた
のだ。

「文化祭
〜地域の方から〜」
洲上 香代子

「アンケートより」
・作品展示、舞台発表ともに、
こつこつと努力してきたこ
とが成果として伝わってき
ました。郷土芸能を、島立ち
を前にして中学生が継承す
る事はとても意義深いもの
だと思いました。
(長浜小関係者)
・生徒たちの真剣な取り組
みを見て胸が熱くなりました。
人数が少なくてもこん
なに感動を与えることがで
きるのかとびっくりしました。
(海星中学校関係者)
・展示部門もよく整理され
ており、素晴らしいかったです。
劇や合奏など大都会の中学
生に負けず劣らない優秀な
様子に感動しました。
(一般・地域の方々)
・会場アンケートでは、「素
晴らしい」「感動した」など
たくさんの方の暖かい言葉を
いただきました。また、先生方
の「西郷どん踊り隊」にもた
くさんの注目が集まってい
ました。





「PTA家庭教育学級発
家庭教育学級長 岩崎聡子

十一月十七日、国際交流センターにて家庭教育学級テーマである、「島立ちを見据えた子ども健全育成を図る家庭教育」の取り組みについて発表しました。

海星中学校の伝統である、通学途中すれ違う車にあいさつをする生徒の皆さんの姿がスクリーンに映し出されたとき、会場から称賛のどよめきが伝わり、とても誇らしく思いました。海星中学校の良さをアピール出来た発表となりました。お力添えをいただきました校長先生はじめ、先生方、PTA会員の皆様ご協力誠にありがとうございました。



「持久走大会」
生活研修部 前多 彩子

十二月中旬、持久走大会が行われました。女子三・五キロ。男子五キロ、海沿いのアップダウンのあるコースを走ります。生徒たちはこの日に向け、体育の時間はもちろん朝の十分間走も正しい練習を積んできました。

当日は冷たい風の吹く寒い日でした。開会式に集まった生徒たちは皆少し緊張した面持ちです。

それぞれの目標タイムを目指し、まず、女子が一緒にスタートしゴールをした。後続いて男子がスタートします。途中、苦しい場面では沿道の保護者からの声援に加え山田先生の伴走とゴールで待つ先生方の大きな声に背中を押され、全員が完走することができました。

女子では新記録ができましたが、皆それぞれ自分に負けず次々とゴールに飛び込む姿に、子供たちの成長を感じた大会となりました。



「登校指導」

生活研修部 岩脇 幸

鹿島地域からは、六名の生徒がバス通学しています。朝早いため交通量は少ないですが、バス乗車場まで安全に気を付けながら歩く姿が見られます。生徒の「おはようございます。」「という明るく元気のよいあいさつで、こちらまで若さと元気をもらっています。

朝早くから、生徒を迎えにきてくださるバスの運転手の方々にも心から感謝です。登校指導は、生徒と会話を交わしたり、行動を把握したりする良い機会になっています。



「女子バレー新人戦」
前多 夏海

地区新人戦、三年生が引退し新チームとなって初めての試合にとても緊張していました。里中学校との合同チームで大会に出場します。船で里に行つてのチーム練習だったので一回一回の合同練習を大切に、みんなでの日まで頑張ってきました。

いよいよ一回戦、緊張もありましたが、いままでの大会とは違い、自分たちのペースでのびのびとプレーをして勝つことができました。私たちがとつて初めての勝利。試合が終わってすぐには本当に勝つたのかという気持ちでした。でも先生に、「初勝利おめでとう。」と言われたとき、「試合に勝つ」ということは、こんなにうれしいことなんだと実感しました。

この試合はベスト8という結果を出すことができませんでしたが、まだまだ足りないこともたくさん見つけることができました。この大会で学んだことを忘れず、引退まで

の間全力で練習に取り組み、悔いの残らないようにしたいです。



「立志式」
福嶺 日菜

二月二十八日に、海星中学校で立志式がありました。

立志式では、今まで何度も考えて書いた決意の言葉や普段なかなか言えない感謝の言葉を、それぞれが一生懸命発表できました。

これからは、その感謝の気持ちや決意の言葉を忘れず、日々の生活で少しずつ実行に移せるように努力したいと思います。



「立志式に参加して」
福嶺 幸

その日は曇天模様で、海星中学校に向かう私の心の中を表しているかの様だった。娘の晴れの日を喜びの気持ちで迎えられなかったのは理由がある。「激励の言葉」がうまく書けなかったのだ。立志式を迎えるにあたって子供たちは「決意の言葉」を、親は「激励の言葉」をそれぞれ発表しなければならぬ。担任の先生からは随分早い段階で説明があった。その日からずっと考えていたのだが、普段自分が生活していくのに一杯いっぱい、四字熟語や誰かの名言を意識していることなんかないのだから、私はたった一つだけ娘に対して思っている事を手紙に書いた。きつと他の方達は立派な言葉を書いて来るんだろうな：娘に恥をかかせたらどうしよう：しかしそれは杞憂に終わった。子供たちの決意の言葉が発表されると、そんなことはどうでもよくなった。

「七転八起」。娘が選んだ言葉だ。決意の言葉と共に、それぞれの親に感謝の言葉が伝えられた。目頭が熱くなる

のをぐっとこらえる。そしてあの言葉を書いてよかった。素直に書いてよかったのだと思えた。いよいよ激励の言葉を言わなくてはならないのだが、もうその時には涙でぼろぼろだった。娘へ選んだ言葉は「ありがとう」だ。激励と言えるのかわからなかったが、ただただ娘への感謝、周りの方々への感謝しか思いつけなかった。しかし終わってみればどの家庭もとても愛と感謝で一杯の発表であり、決意であった。

式を終え、海星の坂を下っていくと、重たかった曇空に晴れ間が差していた。あと一か月もすればこの坂は桜で一杯になる。

六人の生徒の皆さん、保護者の皆さん、おめでとうございませす。そしてこれからもよろしくお願ひします。



足跡
〜成長を振り返って〜

＊ 村尾 英俊・奈緒

あっといふ間の三年間、楽しかったかな？

同級生に男の子が一人もない女子ばかりの中でよく頑張ってきたね。あなたが三年生になった時に、僕一人になっても海星中学校を卒業したい。」と言った時はすごくびっくりしたけど、本当に甌島が好きなんだなあとつくづく感じました。

島の人にはとてもかわいがってもらい、何かあることに応援も沢山してもらいました。困った時には助けてもらったりと本当に感謝です。この思いを忘れずにこれから先努力して自分の夢に向かって頑張ってください。いつか甌島に恩返しできれば最高だね。



＊ 翔夢

僕は、これまでの一五年間のほとんどを甌島で過ごしました。毎年新たな出会いや別れがありました。これまでたくさん地域の方や先生方支えていただき、ここまで来ることができてとても感謝しています。たくさんの方の行事に参加するたびに名前を呼んでくださり、島の有名人になった気分でした。

この甌島で過ごした九年間は絶対に忘れることはないと思います。僕が大人になった時には、ここに帰ってきて恩返しができればいいと思っています。今までありがとうございました。ございました。



＊ 東 美鈴

卒業おめでとう。転校して一年四か月、海星中学校で過ごして大きく成長しましたね。

勉強や行事に取り組み積極性そして責任感。こんな風に変わっていったのも支えてくれた祖父や祖母、優しく時には厳しく見守って下さった先生方。そして何より大切な友達に支えてもらったことを忘れず感謝の心をもって新たな高校生活をスタートしてね。こんなに変わったのも自分自身の努力だと思っから自信をもって頑張っ！お母さんは、これから優しく見守ってください。



＊ 風音

私は二年生の時に転校して来ました。始めは不安でいっぱいでした。海星中学校は通学距離が長いので登校中みんなで話をしながら歩いていきます。そのお陰で友達が出来ました。また勉強面では宿題が多くなかなか提出できず、いつも朝怒られました。なぜ勉強しなければならぬのかがわからずにいたけど、先生方の話をきっかけに自分で自立できるように勉強していくべきだと思っようになりました。

私はあまり先輩らしい行動が出来ませんでした。後輩のみんなは親切してくれて嬉しかったです。新入生が来た時、同じように温かく迎えてあげてください。



〜編集後記〜

今年度「平成最後の〜」という言葉が多く聞かれましたが、どのように過ごされましたか。海星中学校でも、平成最後の多くの行事が行われました。

先生方をはじめ、保護者、地域の方々のご協力があり、年二回のPTA新聞を発行することができました。心から感謝申し上げます。来年度も多くの楽しい紙面をお届けできるように努めてまいりますので、ご協力よろしく願います。

